

NPO法人日本アイバンク運動推進協議会だより

2018年12月14日

巻頭言：理事長のご挨拶

出口 喜男

日頃より、会員の皆様には、アイバンク運動推進にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

事務局を諫早市に無事移転し、新理事ともども、皆様とともにアイバンク運動の更なる普及に向けて活動を推進していく所存でございます。今後とも、よろしくご指導、ご協力をお願い致します。



勸山理事（富士山大会にてご講演）

■ 日本アイバンク運動推進協議会

第41回全国大会（いさはや大会）開催

10月8日（月・祝）、諫早市での全国大会を、500名あまりの一般、会員の方々にご参加いただき開催することができました。

当日は、長崎大学病院眼科講師上松聖典先生による講演、「角膜移植・アイバンク活動アップデート」、ヘレンケラーのDVD上映、掛屋剛志さんのピアノと歌、段ボールパークッションなどで、すばらしい大会になりました。

ライオンズ337C地区、ホストクラブの2R3Zの皆様、各地区より参加の皆様にご報告いたします。

■ 勸山 弘 理事（最高顧問）の訃報

アイバンク運動推進協議会の創始者、最高顧問であります勸山先生がお亡くなりになりました。

平成30年11月7日、ご逝去、満99歳でした。

ご自身も角膜提供をなされました。

アイバンク運動の先駆者として、50年以上も活動に取り組み、運動を牽引してこられました。昨年も、第40回全国大会（富士山大会）で、基調講演をいただきました。

先生のご功績を偲び謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに会員の皆様にご報告いたします。



長崎大学
病院
上松先生
ご講演



掛屋剛志氏
透き通るような
歌声、感動の
演奏

すすむやま ひろむ 勸山 弘 最高顧問 略歴

真宗大谷派、真楽寺前住職

沼津ライオンズクラブ会員

・1975年～76年 ライオンズクラブ 302E2 地区

視力保護盲人福祉委員長

・1978年～79年 ライオンズクラブ 334C 地区

3R アイバンク運動推進特別委員

・1982年12月～84年

全国アイバンク運動推進協議会（改名前）

初代会長

・2009年「ヘルシー・ソサエティ賞」受賞

・2009年「今泉賞」受賞：日本アイバンク協会

・2015年「旭日双光章」受章

◆寄稿： 巨星 墮ちる

前理事長(2005年12月～2009年10月)

(ライオンズ334-C地区名誉顧問)

土屋 誠司

勸山弘師の訃報は日本のアイバンクの訃報です。一生をアイバンクに捧げた先達勸山弘師の訃報はいち地域だけでなく日本全土に悲しみを込めて伝えるものです。

“人の死は献眼により次の代まで生きるの死では無い”日頃より勸山弘師の説いた言葉です。

“日本における失明者に我らライオンズの手によって光を与えよう それは決して不可能では無い あなた自身のWE SERVEにかかっている”

これは今を去る1971年沼津における日本ライオンズクラブ第一回のアイバンク全国大会の決議です。この決議を身をもって示された先人である勸山弘師の後につづく私達は今以上にWE SERVEで応えなければなりません。ご生前の数々のご功績に感謝と敬意を心より念じて哀悼の言葉といたします。

◆寄稿：^{すすむやま ひろむ}勸山 弘先生について

理事長 出口 喜男

謹んでNPO法人日本アイバンク運動推進協議会理事、最高顧問であられた故勸山弘先生にぬかずいて哀悼の言葉を申し述べます。

勸山弘先生は大正八年、沼津市に生まれ、昭和十八年、大谷大学文学部卒業、昭和十九年二十五歳で真宗大谷派真楽寺二十四代住職になられます。

日本アイバンク運動の草分けとして活動し、献眼登録100万人達成の原動力となり、国際児童年(1979年)にはスリランカから200眼の空輸を受け「読売光と愛の事業団」と連携し国際献眼の道を開かれました。また平成二年にはアイバンク運動の灯を中国に移し、日中友好の大きな架け橋となりました。



「持てるもの人のために」 真楽寺にて

沼津市教育委員長、静岡県公安委員長、静岡県仏教会長などを歴任。

現在NPO法人日本アイバンク運動推進協議会最高顧問、真楽寺前住職、沼津ライオンズクラブ会員。

永年のアイバンク運動の功績で旭日双光章を受章。ヘルシー・ソサエティ賞、並びに今泉賞を受賞。座右の銘は「一隅を照らす」、著書に「愛ありがとう」「心豊かに生きる本」「物あふれ心貧しき世に」などがあります。

私が理事長になって十年になりますが、全国大会では研修会の中で「光と愛」と「アイバンク運動のこころ」「持てるもの人のために」など毎回ご講演をお願いしました。本当に有難うございました。

生者必滅は世のならいとは申しながらあの優しい笑顔と元気なお姿を思い浮かべます時ご逝去を信ずることはできません。一入哀惜痛恨の極みであります。願わくは安らかに昇天せられ在天の光となられ御遺族の前途と日本アイバンク運動推進協議会、ライオンズクラブの発展に永久のご加護を賜らんことを念じ、ご冥福をお祈り申し上げます。

■沼津5ライオンズクラブ様より、アイバンクの歴史の資料、静岡新聞に掲載された勸山先生の記事を送っていただきました。添付させていただきます。